

患者の皆様へ

平成23年11月30日

血液内科

現在、血液内科では、「JALSG（日本成人白血病治療共同研究グループ）参加施設に新たに発生した急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の患者様を対象とした5年生存率に関する観察研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「JALSG 参加施設に新たに発生する全 AML、全 MDS、全 CMML 症例を対象とした 5 年生存率に関する観察研究」

2. 研究の意義・目的 「国内の急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群の患者様の生存率、新規薬剤を含めた治療の実施状況を明らかにする」

3. 研究の方法 「診療録に記載されている血液検査値、治療の方法と治療効果を調べる」

4. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「疫学研究に関する倫理指針」（平成19年8月16日全部改正）に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院血液内科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院血液内科

医師 塚田 恵美子

043（222）7171 内線5259（血液研究室）